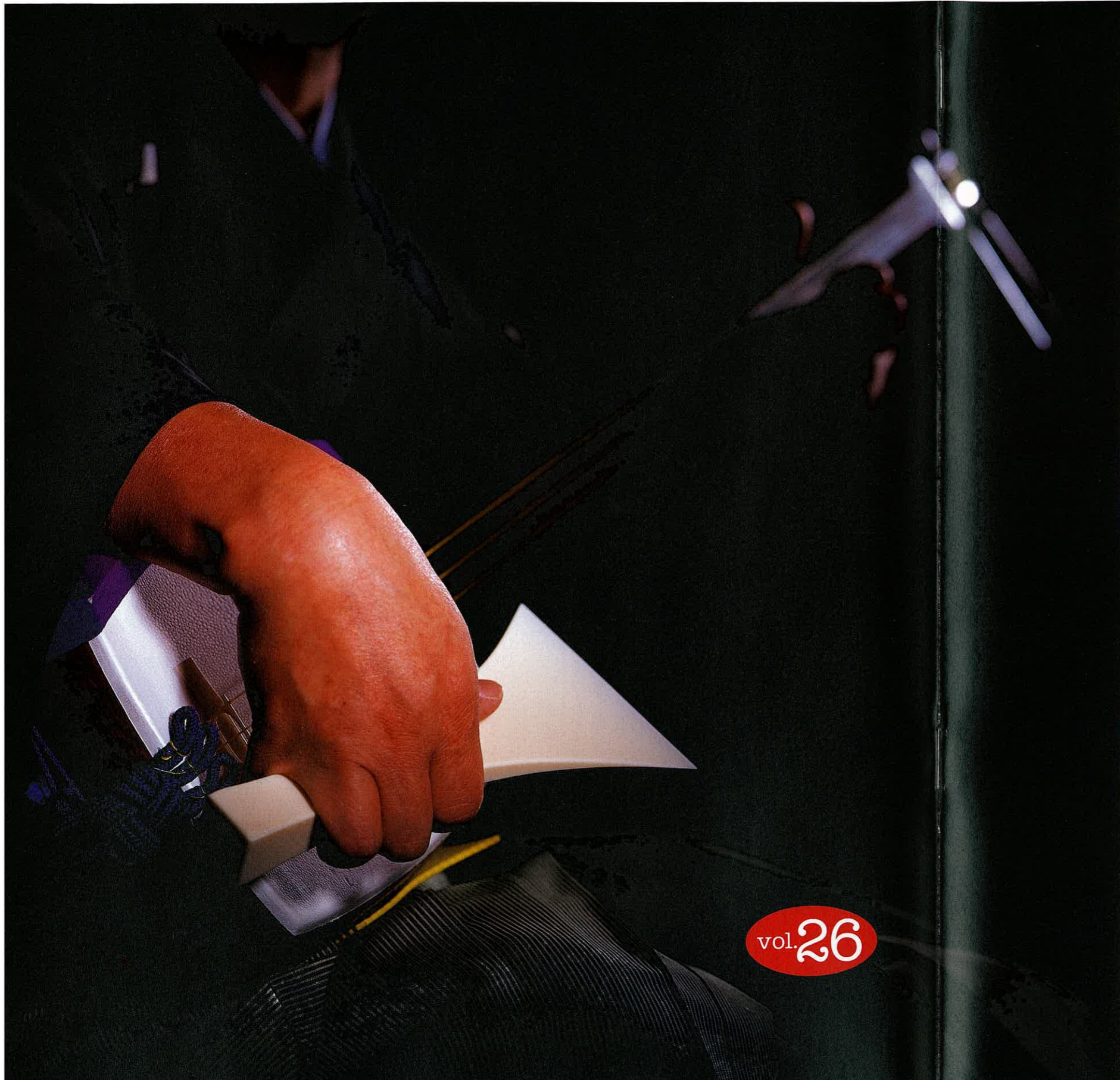


ロゼ

文化情報誌 ロゼ

Art information of Fuji city Vol.26
Culture Magazine R O S E WINTER 1999

冬号



vol.26



ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 1999年1月発行 (第26号)
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416-0931 富士市藤原1307番地の8 TEL (0545)60-2510(代)
企画・編集・制作 (財)富士市文化振興財団事業課広報係 アドスペース エービック株式会社

ロゼシアター開館五周年記念事業
富士市民創作ミュージカル

新・曾我物語～名残りの小袖～ 堂々の公演

ロゼシアターの舞台に流した 汗と涙 が残したもの



平成五年十一月、ロゼシアターは開業を開催してきました。しかしほとんど容でした。そこで平成十年開館五周年でできる公演を、今回財団主催として各方面から好評を得ました。

十一月一日・三日に亘る四回の公演も無事終了し「大成功」の声もいただいたこのミュージカルが本当の意味で富士市の文化になるかどうかは、これからといえます。

そこで市民創作ミュージカルが残したものはなんだったのか、公演を終わってほっとされた演出家をはじめ制作スタッフの皆様に感想や意見を伺ってみました。

富士市に新たなる ミュージカル文化



館以、来毎年三十公演を超える自主事業の事業が市民への一方通行の事業内を記念する事業企画として市民が参加は初の市民創作ミュージカルを開催し

すから着物を着てどんなふうにも動けるかなど制約された世界で創らなくてはなりません。また踊りがすべて日舞だけなら良いのですが、ジャズダンスも取り入れるとなるとダンスシューズを履いて着物を着ることはできませんし、これらをどう抽象化できるかといふ悩みました。平安末期から鎌倉にかけての時代背景が決まり始めると舞台美術・衣裳からも、スタッフ打ち合わせでつつまれ「あ〜ん。〜」なんて僕自身まだよくわからないことがありました。でも次第にリアルっぽく変化していき、結果はよかったです。

美術の小池さんや衣裳の伊藤さんには

演出 三浦 克也
演出助手 鳥居 章
歌唱指導 辻村 典枝
日舞指導 泉 裕紀

三浦・一年前にこのお話をいただいたからまず台本を読み、ジャズの曲を思い浮かべ、舞台も抽象的なものにしてしようと考えました。舞台の中央に段差をつけ内と外の別の空間を表現したりオブジェを置いたり、しかし一番に踊りが中心となり公演を終わって振り返ると



演出 三浦克也

随分無理させました。稽古が進むにつれ電話でいろいろな注文をすると「舞台セツトが決まらないのに立ち稽古なんてしないでくれ」と言われました。(笑)

鳥居・地元の劇団に関わる私にとってこのミュージカルは本当の意味で富士地区のミュージカルになりましたね。富士市だけではなく、近隣の市町にも良い影響を与えました。この地区のアマチュア劇団が参加し刺激し合っつてひとつのものを創りましたから。キャストの中にもいくつものチームワ



イクが出来ました。太鼓チームは息を合わせなくてはならず、手に血豆をつくって最後は真剣そのものでした。自然にこうしたチームができたときに、「これはいける」と思いました。

泉・とても和物らしいミュージカルになりました。最初のイメージでは日舞にダンスが加わり、かなり洋物っぽくなると思っていました。

はじめ三浦先生から日本舞踊を要求されましたが、日舞には目線や腰の動きといった基本が必要で、もうすこし所作的な指導ができれば良かったと思えました。

演出助手 鳥居 章



全体には日舞っぽい踊りになってしまい、「白拍子の舞」がミュージカルの中でどんな意味を持つのか解りづらかったのではないですか。

でも終わってみてキャストの中から本格的に日舞を習いたいという人が出てきたことは嬉しいですね。

辻村・私はこのお話を伺った時、ストーリーは仇討ち、音楽はジャズと聞き、暗いものになるのではと心配していました。でも始まるとても明るい内容とリズムカルな音楽に驚きました。

歌もジャズ風で最初は戸惑いましたが、感じがつかめると楽しく歌うことができました。しかし曲の数が多すぎて次から次へと練習してもいざ舞台上に立つと忘れてしまつて、動きと歌を合わせるのに苦労しました。

三浦・そうですね、ダブルキャストでしたので歌・踊り・台詞と別れた練習が多く、集中して稽古する場がなかったですね。あれにもこれにも関わり、何役もこなさなくてはならず今思うと難し過ぎたかなと思います。

泉・私も踊りだけでなく、着物を着たと



三浦・当初はシングルキャストで考えていましたが、もしそのままシングルでしたらここまで出来ませんでしたね。キャスト同士も盛り上がりやすかったと思います。当然ダブルキャストですと人間同士比べ合います

演出 三浦克也

から、ですからいつそう空組と海組は別なもので違うんだと意識的に変えてしまつたところがあります。そのぶん同じ組のキャスト同士で話し合いをさせました。

鳥居・いばら組(五郎の仲間達)の男性は大変だったんじゃないですか、組によって女性陣が変わりますからそれに合わせて、気の毒なほどよくやっただと思います。いい経験になったのではないのでしょうか。

三浦・ここは男性キャストが多いほうです。以前よその地方で同じ様なミュージカルをやった時、百人のキャストに男性はわずか三人でした。

辻村・とにかくグループごとの練習は一生懸命でした。歌に関しても空と海とがラ

富士市に新たなるミュージカル文化

泉 ●私も富士を活動拠点にしていますが、これまで行政が文化的な関わりを持つことは少なかつたと思います。ですから公的な財団としての立場からもっと市民にPRしても良かったのではないのでしょうか。富士地区全体に広がるような声掛けの仕方でもミュージカルに関わらない人にも何かのかたちで接する機会があれば良かったかなと感じました。

日本舞踊に關してもただ桜の花を持って踊るといイメージではなく、創作舞踊という奥の深さを知らせる機会をつくっていきなさいですね。でも今回は日本舞踊を通して若い人達と接することが出来て大変良かったと思います。



鳥居 ●そうですね、ですから今回はいい機会でした。前回の「春への出発 ティアナ号の贈り物」からそれぞれの劇団が同じ舞台に乗るようになり、そこから新しいグループが誕生したり、ここ数年富士地区の演劇事情は変化してきました。以前は他の劇団との交流はありませんでしたが、今ではお互いに相互乗り入れという公演の度に役者の交換や舞台裏の応援など助け合っています。今回のミュージカルでもこれからはどうなっていくか楽しみです。

鳥居 ●このミュージカルは演劇に接している者だけでなく、子供たちにとっても良い影響を与えました。これからミュージカルに対する意識がぜんぜん変わってきますし、役者だけでなく芝居を創る舞台の裏方になつて欲しいですね。それにはこうしたミュージカルを何回も経験できるような環境を作つてあげる必要があります。

今回の出演者があつたらせろせシアターに寄つたとき、ただ思い出や懐かしさを感じるだけでなく何かを生んで欲しいと思います。

三浦 ●公共団体として文化(ミュージカル)を盛んにしていくには、市民から声が出たから始めるのではなく、市民に対し「ああしよう、こうしよう」と積極的に投げかける必要があります。そこには今回の出

演者は必ずついてゆきます。文化は継続ですが、毎年ミュージカルを公演するというのではなく、ロゼシアターに来ると毎週ミュージカルのカルチャー教室をやつていこうとか。

この市民ミュージカルの経験は決して無駄にはなりませんから、市民から要望があつたときの財団(ロゼシアター)の受け入れ方だと思ひます。

何年かして、劇団こそだー(小袖のメンバー)なんてのが誕生すると思ひますよ。

財団●その時には、また皆さんのご協力をお願いしたいと思ひます。

全員●いいとも。(笑)

ありがとうございました。



歌唱指導 辻村典枝



日舞指導 泉 裕紀



市民創作ミュージカルが残したものの、富士地区のミュージカル文化の可能性

三浦 ●この地区は演劇の盛んな地域という印象を受けました。これだけアマチュア劇団がありますから。全国あちこちの地方へ行きますが地元劇団と言つても企業単位であつたり、あまり目立ちませんね。

辻村 ●今回のミュージカルをこれきりにならないようにしていただきたいですね。たとえば他の地方の会館で公演出来るように台本や譜面などそのまま渡して、三浦先生でなくても演出が可能ないように、せっかく創つたのですから二十一世紀に伝えていけるよう希望します。

辻村 ●「中間発表会」「曾我祭 富士まつりへの参加」「びつくり箱コンサート」などである程度市民の皆様には理解していただけたと思います。私はタクシーをよく利用しますが運転手さんに「今度市民ミュージカルをやるんですってね」なんて言われました。

泉 ●キャスト全員が良く役をこなしていました。すっかりその役になりきつていましたから。本番前の通し稽古の上達ぶりにはびつくりしました。ゲネプロ(本番同様のリハーサル)で衣裳スタッフや舞台裏の

三浦 ●僕も新富士からここ(ロゼシアター)まで来ると、「懸垂幕が懸かつてますね、十一月二日三日に曾我物語やるんですね」とか「ミュージカル関係の人ですか」なんて声を掛けられます。それがどういった情報で流れているのか解りませんが…。

演出的にはもっと大々的にPRしたほうがいいですね。

全公演満席で大好評を得た市民ミュージカル 本番の舞台は

鳥居 ●私の地元の鷹岡地区では体育祭の時、「今度ミュージカルやるんですね、チケット買いましたよ」とか話し掛けられ鷹岡地区の人は楽しみにしていたようです。

辻村 ●でもなかには、公演間際になつてミュージカルを知りチケットが買えなかつた人もいたようです。

鳥居 ●私の地元の鷹岡地区では体育祭の時、「今度ミュージカルやるんですね、チケット買いましたよ」とか話し掛けられ鷹岡地区の人は楽しみにしていたようです。

三浦 ●これだけの衣裳と舞台美術は素人だけでやるうとしても不可能だと思います。

鳥居 ●私の劇団もお手伝いに加わり勉強させてもらいました。プロのメンバーと一緒ということもあり上手に指導していただき楽しく仕事ができました。最後にはあれだけの舞台装置を数秒で転換すること

三浦 ●これはだけの衣裳と舞台美術は素人だけでやるうとしても不可能だと思います。

鳥居 ●私の劇団もお手伝いに加わり勉強させてもらいました。プロのメンバーと一緒ということもあり上手に指導していただき楽しく仕事ができました。最後にはあれだけの舞台装置を数秒で転換すること

三浦 ●これはだけの衣裳と舞台美術は素人だけでやるうとしても不可能だと思います。

鳥居 ●私の劇団もお手伝いに加わり勉強させてもらいました。プロのメンバーと一緒ということもあり上手に指導していただき楽しく仕事ができました。最後にはあれだけの舞台装置を数秒で転換すること

イバルで相手チームより上手くなりましたとかなり意識していたようですね。

一年間に行ったイベントの数々、市民へのPRは

うが盛り上がりましたね。キャスト側からすれば、市民が待ちに待った日が来たという雰囲気にしたかったですね。

方さん達に支えられたことも良かったのでしよう。私も最後まで和物の衣裳や小道具のことで伊藤さんと話し合いました。



ができたのですから。本当にいい経験をさせてもらいました。

泉 ●通し稽古に入つても衣裳スタッフ達は初め何をどうしたらいいかとまどつていましたが、繰り返し返されるうちに自分達で考え、工夫しました。ミュージカルの流れをつかみ、能率的な動きを会得しゲネプロの時には余裕さえみえはじめました。この場で出演者にお水を飲ませようとか、この時化粧を直そうとか、舞台裏にももうひとつのドラマがありました。

三浦 ●それは舞台上のキャストも同じです。通し稽古までは場面場面のシーンの練習だけで、どんどん話しは進んでいくし本番前の通し稽古を何回かやつて、初めて芝居の流れが解つたという役者も何人かいたと思ひます。



邦楽への誘い

竹内道敬 放送大学客員教授



すっかり馴染みとなった竹内道敬先生の解説による「邦楽への誘い」 昨年一月より第一回「中節」第二回「義太夫節」第三回「歌舞伎の鳴物」を数えいよいよシリーズ後半に入ります。やわらかなお話と優れた演奏陣は私たち日本人の心に邦楽のすばらしさを伝えてくれます。

今回は第四回「新内節」第五回「長唄」の公演を前に見どころ、聞きどころの解説をしていただきます。

新内節

新内節は、はじめ歌舞伎の舞台に出ていましたが、十八世紀半ば頃から縁が切れて町中の演奏を主にするようになります。そして十九世紀初め頃からは、独特な「流し」という営業形態をとりはじめて、庶民の音楽として親しまれるようになります。これはつい最近まで聞くことができたが、今ではほとんど聞かれません。

なかでも三大名作といわれる「蘭蝶」



「明烏」「伊太八」は人気曲で、繰り返し演奏されています。これらは鶴賀若狭掾という人が作詞作曲したもので、庶民の喜びや悲しみを十分に描いていて、よく知られています。一段でまとまったストーリーを持つもので、これらを「端もの」といいます。また流行していた義太夫節の一部を新内節に編曲したものがあり、これらは「一段もの」といいます。新内にはこのほか「弥次喜多」三段（赤坂並木、市子口奇、組討）のような「滑稽もの」や、明治になって作られた「花井お梅」などがあり、最近では故岡本文弥や、今回の演奏家新内仲三郎が新作に取り組んでいます。

太夫節 鶴賀若狭掾 新内節 義太夫節

大文字 正本所 清水次兵衛

市川 團十郎

その演奏は太夫（語り手）二人、上調子一人というのがキマリで、太夫は弾きながら語ります（二挺三味線といえます）。新内節の上調子は、ほかの三味線音楽と違い、裝飾音が派手で、ムードを盛り上げていきます。

今回演奏される「蘭蝶」は、浮世声色物真似師の蘭蝶と、その妻お宮、愛人の此糸との物語で、此糸のところへお宮が出てきて、蘭蝶との縁を切ってくれと頼むこと

長唄

ろから始まります。そのときのクドキが「縁でこそあれ末かけて」から始まる長いもので、「縁でこそあれ」といえば新内節といわれるように、新内節の代名詞のようになっています。蘭蝶は不安定なその日暮らし。お宮とは高輪で出会って夫婦になったのですが、お宮は貧しさゆえに身を売って蘭蝶に尽くしています。此糸は大涯孤独な遊女で、四谷で蘭蝶と出会ってから、親身に相談できるただ一人の男性です。ギリギリのところで暮らしている三人がその後どうなるのか。全曲を演奏すると時間以上もかかる物語ですが、時間の都合で部を省略して演奏いたします。

長唄は江戸時代に江戸の歌舞伎とともに発達してきました。その基礎からできたのは案外遅く、十八世紀の初めころです。正確には七二七年のことです。それから次第に変化・発達して、今日のようなものになりました。前回に聴いたように、囃子も含めて舞踊のための演奏のほか、雰囲気を作るためのめりやすなどもあります。長い間、長唄は劇場専属という形でしたが、後には劇場からはなれて、演奏のためだけの音楽（吾妻八景、秋の色種など）も作られ、また浄瑠璃系に属する大薩摩も吸収して、長唄は色彩が豊かになりました。今では現代邦楽へのアプローチも試みられています。

長唄にはなんでもあります。唄一人三味線一人の演奏から、舞台正面に唄十人以上、三味線十人以上、それに出囃子といつて笛、小鼓、大鼓、太鼓まで入れて三十人近い演奏形態まであります。そしてしんみりとした曲、リズムのはっきりした派手な曲、語りものに近い勇壮な大薩摩など、口では説明できない多種多様な音楽です。

今回演奏される「勧進帳」は、天保十一年（一八四〇）に初演されたものですが、これは芝居の伴奏というよりは、場面を説明する音楽です。しかしもの「勧進帳」がよく知られたこと、曲が名曲なので、今回のように演奏だけでもよくわかります。

もとは能の「安宅」で、頼朝に追われた武蔵坊弁慶と義経の一行が山伏姿に身を



先代正業の紙切り作品

やつして、安宅の関に通るかかります。ここには富樫左衛門がいて、義経一行を捕らえようとしています。いったんは無事に通れそうになったのですが、従者の告げ口で、あわやというとき、弁慶の機転で無事に通り過ぎることができるといふ場面です。そのほか、公演当日は長唄三味線の演奏のポイントの説明や、これも有名な「越後獅子」の演奏も予定しています。

どうぞお楽しみください。

邦楽への誘い

- 第四回 新内節 二月十六日(土)
 - 「新内流し」「蘭蝶」
 - 出演 新内仲三郎(弾き語り) 岡本宮之助(上調子)
- 第五回 長唄 二月十三日(土)
 - 「越後獅子」「勧進帳」
 - 出演 今藤長之(唄)ほか 今藤政太郎(三味線)ほか



初演時の正本



PROFILE

竹内道敬 たけうちみちたか
早稲田大学大学院修士課程修了。元国立音楽大学教授。現在放送大学客員教授。主著「河東節二百五十年」「近世芸能史の研究」「近世邦楽研究ノート」「日本音楽の基本概念」「邦楽・邦舞」ほか。



演奏活動も子育てもがんばってます

明るい笑顔と楽しいおしゃべりに内面から湧き出る向山さんの魅力をキャッチ

チェリスト
向山佳絵子



ロシアターオープニングプログラムとなった「ガラコンサート」、昨年の「イヴニングコンサート」、そして今年2月の「ハレー・ストリング・カルテット」公演と3回目の出演となる向山佳絵子さん。日本を代表する女性チェリストでありながら、けして飾らず素顔のまま楽しいおしゃべりをしてくれました。



皆で楽しく演奏することが大好き

私が幼い頃から母がチェロを弾いていましたし、父もカザルスが大好きでしたから、きつと両親も私に何か楽器を持たせたいと思っただけですね。最初はピアノから入りました。当時は一人で勝手にピアノを弾くといった感じで楽しく楽器と接していたのですが、ある日ジニアフィルを聴きに行ったことがきっかけでオーケストラに入り皆で演奏する楽しさを知りました。チェロを持ったのは九歳ごろです。このジニアフィルは指揮者や環境に恵まれていて、そこでオーケストラにしか出せない音、幅広い重厚な音に出会い、そんな音楽が好きになったんです。

チェロの魅力ってチェロ奏者にしか解らない

チェロだけでアンサンブルが組めるという

のがひとつの魅力です。二本から四本、十二本、またそれ以上のアンサンブルまで、いろんな編成で楽しめるんです。どういいうわげかチェロ奏者というのは学生からプロまで仲間意識がとて強いんです。何かということとすぐ集まります。昨年十一月に神戸で千人のチェロの演奏がありましたよね。他の楽器で千人はなかなか出来なんでしょう。(笑)

ハレー・ストリング・カルテットのメンバーは皆お友達ですけど、音づくりはこれから

ハレーに参加したという事は、ただ楽しくアンサンブルを奏でるだけではなく、そこに厳しさが要求されてきます。今までハレーが創りあげた音楽をいかにこれからも長く続けていくか、特に私は途中から加わったのでそういう責任をとてても強く感じます。

ハレーの決まった練習時間はありません。公演前のリハーサルも限られています。その短い時間にカルテットを完成させるのは大事なことです。他のメンバーは十年以上もそれをやってきたのですから、エライなって感心しています。ハレーの演奏は昨年九月のプレビュー公演と十一月のカザルスホールでの公演しかやってないんです。新メンバーになったばかりで今はさぐりながらの状況です。そうした意味からこれからどうなっていくかとても楽しみです。

ロシアコンサートは楽しんでいただけました

コンサートにいらっしゃるお客様はいつも演奏者と会つるわけではないですから、やはり舞台を前にすると構えてしましますが、「とにかく足を運んで聴いてください」と満足させます。どこかかな。今回のロシアのプログラムは「重い」という印象があるかもしれませんが、どちらもヨーロッパの音楽、ツェムリンスキもペーヴェンも同じように楽しんでほしいです。今回は小ホールなので演奏者とも近く表情もよく見えると思います。そういうところもおもしろいかもかもしれませんよ。

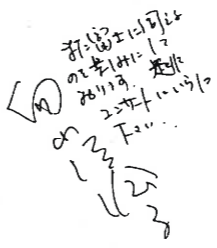
仕事と家庭を両立、毎日充実しています

最近二歳半になる息子が、パパ(藤森亮二氏・モルゴア・カルテット)がオーケストラにいらつてを覚えて、コンサートに連れて行って共演したオーケストラにパパがいないと怒つたりします。この前ハレーのツアーではメンバーに可愛がつて頂いてすつかりなつてしましました。

この間N響にエキストラとして参加してとても充実した幸な時間を過ごしたのですが今考えると、子供が生まれる前にもつとオケに携わつておけばよかったなと思つます。子供がいると時間が制限されますし、この春二人目が生まれますとますますどうなるかわかりませんね。演奏活動は二月いっぱいまでちょっとお休みして六月から再開します。家庭も仕事も同じように大切にしていきたいですね。ハレーは年三回の定演といつてもかなり追われてしまつうし、ツアーになると家族旅行みたいになつちやうかな?なつて(笑)。

私にとって三回目のロシアターでのコンサートはハレーの仲間たちとの楽しいひとときにしたいですね。

ありがとうございました。



向山佳絵子 KAEO MUKOYAMA
東京芸術大学在学中の1989年、「パブロ・カザルスに捧げるチェロ連続リサイタル」に出演し脚光を浴びる。1990年からドイツ・リュネブルグ国立音楽大学に留学。92年第2回出光賞受賞。スケールの大きなその音楽性は、次代を担う存在として各方面から高い評価を得ている。

ドイツのクリスマス

内藤 閑喜

ドイツで寒さを我慢するという考え方に会つたことがない。人々は寒さに抵抗、そして凌駕する。挨拶も「今日は夜十五度C、昼三度C位です。」と零下を略してよく言う。「Sehr frisch!」(とても冷えびえしている)という表現も、frischが「元気がよい」とか「新鮮な」等の意味をもつているためか、すがすがしい感じになる。日本で「寒い寒い!」と言つているのをよく耳にするが、たいして寒くなくとも身も心も冷えてくる。厳しい冬の到来は、楽しいクリスマスの時を告げる。

アドヴェントの表情

クリスマス前四週目の日曜日にアドヴェントが始まる。人々はこの間にキリスト降誕を心を清めて待ち、準備に勤しむ。繁華街は人と車で大混雑となり店は商戦たけなわだが、一年で一番大切な祝祭日に向けてどことなく真面目で厳かな雰囲気。が漂い宗教色が濃くなる。平生の行為を反省する人、瞑想的になる人、教会に行く人等が多くなる。駄々っ児もニコラウス



ドーム(大聖堂)広場のクリスマスの市「夜景

のプレゼントを当てるにしか、神妙になり聞き分けもよくなる。教会でのコンサートも増え、プログラムはロック音楽から民謡までクリスマス音楽が大半を占める。日本の街が歳末大売り出しのかけ声とともにアーケードのスピーカーからジングルベルが鳴り、和菓子屋が突然ケーキを作り出し、門松が売られたりと商業中心一色の表面的な世界になるとは対照的だ。

クリスマスの市

アドヴェントの始まる前から全ドイツ各所でクリスマスの市がたつ。ニュルンベルグの市「クリストキンドルマルクト」は特に知られている。市には多くの木の小屋掛けの店が並び、観覧車や回転木馬などミニ遊園地が設けられ、クリスマスツリー、ラングのデコレーション、クリツペなどが飾られる。コラウス、オーケストラ演奏、民謡、演劇、踊り、語りなどの催しも随時行われる。店ではこの時期特有の物が売られ、人々はクリスマスのプレゼントや準備のためにこの市を利用する。チューリゲン風焼きソーセージ、ワッフル、グリュウワイン、ブイペクへ、焼き栗、煎りアーモンドから、芳香品、クリスマス用品、刺繍、ガラス細工、陶器の人形、操り人形、手製ローソク、木製玩具、ラマ皮や羊毛の帽子や手袋、彫金細工など手工芸品が製作のデモンストレーションとともに売られる。またガラクタ物も堂々と店先に並んでいる。



人出でにぎわう「ノイマルクト」のクリスマスの市



操り人形売りの店先

ケルンの市

ケルンの市街地には四つの大規模な市が、周辺部には大小数多くの市が出る。毎年この時期ケルンの観光客は約二百五十万人増加する。オランダ、ベルギー、フランス、イギリスなどから毎日のように百五十台余りの観光バスがケルンを訪れる。四つの市にはそれぞれ独特の雰囲気がある。十九世紀中期の「ニコライマルクト」を模した「アルターマルクト」は店が九十、インピスが二十三出で、現在のクリスマスの市の形態になつてからの歴史は番古い。一九九八年は目玉として「チロルのクリスマス」が紹介され、十五メートルのクリスマスツリーが飾られた。百五の店と十九のインピスが並ぶ「ノイマルクト」は昨年二十五周年を迎えた。「ドーム(大聖堂)広場の市」はケルンで最も大きく百七十の店と四十八の



クリスマス市に飾られたクリツペ(3)



クリツペの部品を売る店と各島の民芸模造品を売る店

マンドリン製作・演奏家
内藤 閑喜
Yasuyoshi Naitoh PROFILE
富士市出身。現在ドイツ・ケルン市在住。海外のさまざまな文化情報を新しい切り口で取材し、レポートを送っていただいています

- 1 待降節(クリスマス前四週目の日曜日を含む)のクリスマスのための準備期間。
- 2 十二月六日の前夜にプレゼントのむちを持って出現するサンタクロースになる老人。
- 3 クリスマス時に教会、市、家庭で飾られるキリスト降誕の図(まじりの情景を彫刻、粘土、紙などで模した)のもの。
- 4 赤ワインと紅茶に砂糖、シナモン、ネルゲ(子)・ちやうじなどのクリスマスの香料を加えて熱した温かい飲み物。
- 5 じやいもと小麦粉をペーグに好みの野菜を加えて、天ぷら風の様に揚げた塩味のパンケーキで、通常リンゴソースをつけて食べる。

(協力) Koin Tourismus Office

ROSE THEATRE · EVENT CHECK LIST

1999年2月・3月・4月の催し物のご案内
財団自主事業をはじめ、一般貸出事業を含めたスケジュールです。

INFORMATION

2 FEBRUARY

日	曜日	ホール	イベント
6	土	中	食と農のパートナー富士地区推進協議会講演会
		大	いまいづみ幼稚園生活発表会
7	日	中	富士市民劇場 観劇例会民藝「研師源六」
		小	ピアノ発表会(望月・河合)
8	月	中	富士市民劇場 観劇例会民藝「研師源六」
9	火	中	白石加代子「百物語」第4夜
10	水	大	富士高等学校芸術鑑賞会
		中	富士市民劇場 観劇例会民藝「研師源六」
		小	ピアノ発表会(佐野・望月)
11	木	中	富士市民劇場 観劇例会民藝「研師源六」
		小	ピアノ発表会(佐野・望月)
12	金	小	ハレー・ストリング・カルテット
13	土	小	第22回富士市PTAのつどい
		小	邦楽への誘い第5回「長唄」
14	日	大	★富士見高等学校吹奏楽部第30回定期演奏会
		中	静岡県茶道連盟講演会
		小	吟剣詩舞道大会
19	金	中	第42回静岡県J.Aミセス発表大会
		小	平成11年度富士野球連盟総会
20	土	小	富士高等学校理数科課題研究発表会
21	日	大	佐藤しのぶリサイタル
27	土	小	吉原小学校吹奏楽部コンサート
		小	ピアノ発表会(加瀬)
28	日	大	小椋佳「歌謡の会」
		中	第19回八十の会音楽演奏会

※一般貸出事業については、平成10年12月下旬までの受付分です。
各ホールでのイベントや展示などの日程は変更になる場合があります。
□ロゼシアター主催事業★ロゼチケットセンターでもチケット扱う予定

3 MARCH

日	曜日	ホール	イベント
2	火	小	富士地域幼児交通安全対策研修会
3	水	大	★崔岩光&レプチンスキー アリアの調べ
6	土	小	静教組富士支部定期大会
		大	劇団飛行船入形劇
7	日	中	落語会
		小	ピアノ発表会(高橋)
8	月	大	富士市立吉原第一中学校芸術鑑賞教室
10	水	中	石井組創立100周年記念式典
13	土	中	MAYコンサートスペシャル
		小	ピアノ発表会(アリスの会)
14	日	大	ふるさとほのぼのバラエティショー
		中	MAYコンサートスペシャル
		小	ピアノ発表会(進)
16	火	中	のぞわ洋後援会の集い
18	木	中	第8回常葉学園富士短期大学卒業式
20	土	小	ピアノ発表会(福沢)
21	日	小	ロゼ・ピアノコンクール予選
22	月	小	生田流宮城社箏曲演奏会
23	火	大	川中美幸コンサート
		小	福永素子門下生ピアノ発表会
24	水	中	吉原高等学校吹奏楽部第7回定期演奏会
		小	親子まんが映画会
25	木	小	ピアノ発表会(高橋)
26	金	小	ピアノ発表会(小林音楽教室)
27	土	大	★佐野栄代・長谷川真由美・山ノ内リサイタル
		小	ピアノ発表会(風岡)
28	日	大	富士東高等学校吹奏楽部定期演奏会
		小	ロゼ・ピアノコンクール本選
29	月	小	平成11年度富士市青少年指導委員会総会
30	火	大	富士高等学校吹奏楽部第23回定期演奏会
		小	バレエ発表会

4 APRIL

日	曜日	ホール	イベント
2	金	小	ピアノ発表会(伊賀)
3	土	小	第10回スプリングコンサート
4	日	大	由紀さおり・安田祥子童謡コンサート
		小	ピアノ発表会(石川・佐野)
10	土	小	ピアノ発表会(渡辺・太田)
11	日	小	ピアノ発表会(石川)
12	月	中	静岡県理容競技大会
16	金	中	小松亮太バンドネオン
17	土	中	高木善之講演会
18	日	中	FUJI FESTIVAL'99
		小	ピアノ発表会(吉田)
22	木	中	シアターオリンピクス「川劇」
23	金	小	フルート発表会(豊島)
24	土	大	富士フィルハーモニー管弦楽団第19回定期演奏会
		小	ピアノ発表会(荒川)
		中	細木マリジャズダンス教室発表会
25	日	小	ピアノ発表会(竹の会)

展示室のご案内

展示期間	催事	展示期間	催事
2/5~14	「心の芸術家たち」日本画女流3人展	3/26~28	素描と水墨画展
2/19~21	富士・富士宮地区高等学校新春書画展	4/1~4	富士美術研究所作品展
2/25~28	近藤翠仙社中展	4/8~11	モモクリテン'99
3/2~8	渡邊津雪イラストレーション展	4/12~18	全日写連富士支部創立35周年記念写真展
3/4~7	顧哲剛水墨画師弟展	4/13~18	第5回押花グループ作品展
3/12~22	野田好子近作展	4/20~25	第33回「富士の型染」展
3/24~28	公民館自主グループ総合写真展	4/27~29	静岡県華道連盟東部華展

ここが見どころ イベントガイド

佐藤しのぶリサイタル



- 平成11年2月21日(日)大ホール
- 開場/18:00 開演/18:30
- 入場料/S席 5000円 A席 4000円 (学生 2000円) (全席指定)
- 曲目/歌劇「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」(ブッチェーニ)
歌劇「オテロ」より「柳の歌」(ヴェルディ) 他

EVENT Report

ロゼシアター開館5周年記念 MAY CONCERT SPECIAL

1999.3月13日(土) 19:00~・14日(日) 14:00~・入場料各1,000円 中ホール

今年で8回目を数える、毎年5月恒例の「MAYコンサート」。
富士市出身で、その年に音楽大学等を卒業した新人演奏家たちによるコンサートですが、この「MAYコンサート」の名前の由来を皆さんはご存じですか?「MAY」には5月という意味はもちろん、芽生(メイ)これから芽が出て素晴らしい花を...という願いが込められており、若い芸術家たちの華やかなスタートの場になればと名づけられたのです。これまで「MAYコンサート」の出演者は総勢75名に達し、この間各自はソリストとして、また室内楽、合唱グループ等において充実した活動を続けてきました。そこで、今年度ロゼシアター開館5周年に当たることから、これまでの出演者たち自身が企画・運営する「MAYコンサートスペシャル」を開催します。「MAYコンサート」より集立っていた若きヴィルトオーゾたちの演奏、その成長ぶりをどうぞお楽しみください。

出演者(MAYコンサート出演者とその仲間たち)

- 13日(土)
四重唱 深沢 玲子、市川 千里、稲葉 浩子、加藤 真由美
ピアノ 佐野 緑
声楽 清 浩子
フルート四重奏 柿畑 祐子、西山久美子、中川 美恵、川口美奈子
声楽 藤田久美子
エレクーン+ピアノ 渡辺 尚美、一条 美穂
フルートデュオ 西村 三佳、岡田明日香
声楽 本多 あや
ピアノ連弾 鈴木華代子、森かおり (順不同)

- 14日(日)
ボーカル+エレキギター 尾崎 文子、川口 淳夫
サクソ2+ピアノ 甲田 愉香、物井光太郎
サクソフーン 藤飯 桂
声楽+ピアノ 濱田 敦子
山口 和香、渡瀬 あい
ピアノ+サクソフーン 伊藤 美幸、長瀬 正典
ピアノ 高橋 久代
ピアノ 山本 佳代
ピアノ連弾 川嶋 伸子、長洲 琴美
金管アンサンブル 草分 直樹、渡辺真規子
鈴木 善博、根岸 利光
小林 久剛、杉山 和也
梶原久仁子、田中 誠
藤原 和彦、稲葉 滋広
稲葉 玲美、田村 哲也
田代 勝明、川口 三郎 (順不同)

演奏曲目

13日 ● ガッシュイン/ラプソディー・イン・ブルー
● ジャカリアン/フルート四重奏曲
● エーデルワイス(サウンド・オブ・ミュージックより) 他

14日 ● ピアソラ/リベルタンゴ
● ピアソラ/天使のミロンガ
● リスト/リゴレット・バラフレーズ 他

※都合により曲目が変更となる場合がございます。

INTER MISSIONN

国立バリ管絃楽団公演より

渡辺久芳さん
「これまでクラシック音楽にはまったく興味がなくテレビでバリ管のCMを見て聴いてみたくなりチケットを買いました。もちろんホールも演奏も初めて」「ボレロに感動しました。これからクラシックにはまりそうです。」

鈴木博美さん
富士フィルでパーカッションを担当する鈴木さん「一言でいえないぐらい迫力がありました。あの20センチのシンバルの音は一生忘れませぬ」「これからは世界のオケを聴きたいです。」

ハンガリー国立歌劇場「椿姫」公演より

長谷川裕子さん
「これは大のオペラファン。これまで、オーストリアなど各国で見ました。海外に行ったときは必ず見ます。」「ロゼでは「魔笛」「椿姫」につづき「アイダ」が見たいですね。天神さんは以前声楽をやっており「椿姫」は思いでの演目です。」「今日のパートンはすばらしく、合唱もまともでした」とご満悦。

CHRIS KOSZAK
クリスコザクさん
カナダより高校の英語教師として富士市に来ました。今は富士響のサクソフーンのメンバー、「富士市はとても良いところ、ロゼシアターもナイスなホールです。大都市に行かなくてもこんな公演が見られますから」「日本で一番気に入ったのは富士響とロゼです。」



ロゼピアノコンクール'99 出場者募集のお知らせ

日頃ピアノを勉強している生徒さんから先生まで、幅広い層の方々の研鑽の成果を披露するともに、お互いに刺激しあい、励ましあうことでピアノの演奏を上向きに、向上することを目的に、ピアノコンクールを開催いたします。

そこで、下記の要領で出場者を募集いたしますので、皆様の多くの参加をお待ちしております。

開催日時/予選 3月21日(日) 本選 3月28日(日)

会場/ロゼシアター 小ホール

部門・参加資格

学生の部
A 小学校3年～高校3年
B 中学校2年～高校3年 (ただし音生はBのみ)

一般の部
A 高校卒業以上
B

参加料/学生の部 10,000円
一般の部 15,000円

申込み方法/申込み用紙に必要事項を記入の上、参加料を振込み、その振込み控えを添えて専用封筒にてお送りください。

申込み期間/2月10日～2月25日 (事務局必着のこと)

●申込み・問い合わせ先/富士市本町8-7 (株)すみや富士本町店楽器フロア内
ロゼピアノコンクール事務局
TEL. 0545-63-2233
FAX. 0545-63-5235



チケットのお申し込み・お問い合わせは
ロゼ・チケットセンター
TEL. 0545-60-2500 受付時間 9:00~19:00

☆ロゼシアターホームページアドレス http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~rose/ e-mail rose@city.fuji.shizuoka.jp
みなさんとロゼを結ぶホットライン! イベント情報、館内施設、トピックなど盛りだくさんの内容です。